

〈保護者配付用〉

◆「食物アレルギー個別対応用献立表」の具体的な使用例 ◆

まず、保護者の方が記入し、担任に渡してください。学校はチェック後、原本を保管し、コピーを保護者の方に渡し、情報を共有します。

- 1 献立名と食品名を確認する。
  - 2 アレルギーにより食べられない食品にチェックを入れる。(鉛筆、シャープペンシル等ではなくボールペン等を使用してください)
  - 3 個別対応献立か否か確認し、喫食の有無、自己除去、弁当等についても記入する。
- ※訂正は二重線で行い、保護者の認印を押してください。

例：アレルギー原因食品が卵、乳製品の児童生徒の場合

個別対応献立には◎の表示がある。例は卵の個別対応献立

1月15日(水)		対応献立	喫食の有無	1月16日(木)		対応献立	喫食の有無
1	パン		○	8	米飯		○
	クリームシチュー		×弁当		他人丼	◎卵	△
	キャベツのピクルス		○				
	みか						
	牛肉						
	料理酒						
	鶏卵(液卵)				卵	×	
	たまねぎ						
	にんじん						
	グリーンピース(冷)						
	サラダ油(綿実)						
	こしょう						
	小麦粉(薄力)	小麦					
	サラダ油(綿実)						
	牛乳	乳	×				
	りんご						
	うす口しょうゆ				小麦・大豆		
	こい口しょうゆ				小麦・大豆		
	(だし) ◆★				さば▽えび▽かに		
	うすあげ				大豆		

シチューが食べられないので×印を入れ、代替に弁当を持参する場合は弁当等記入し、弁当があることが一目でわかるようにする。弁当の持参がない場合は×印のみとする。

個別対応献立を喫食する場合はこの欄に△を記入し、通常食ではなく個別対応献立を食べることを明確にする。(○印では通常食と誤認しやすいので必ず△印で記入)

卵がアレルゲンなので食品チェック欄に×を記入する。

牛乳がアレルゲンなので食品チェック欄に×を記入する。

注意を要する事項がある場合は、◆、★など記号を付けているので、何のマークか必ず確認する。(見方は個別対応用献立表に記載)

※「自己除去で食べる」場合は「△自己」等、通常とは異なる方法、対応等で食べることをこの欄に明記する。

含有原材料欄に記載する食品は、食品表示法によって表示が義務付けられている「特定原材料」の7品目と「特定原材料に準ずる」とする21品目の合計28品目です。それ以外のアレルゲンがある場合は各自注意し、チェックしてください。

**注意：**お子様の状態によって注意を要する場合は「食品別アレルゲン一覧表」「加工食品等の原材料表」で確認する必要がありますので、学校に問い合わせてください。アナフィラキシーを発現する危険性が高い、症状が重い等、厳密な対応が必要な場合は特に細かな面談を行い、少しでも不安がある場合は弁当を持参していただくこともあります。不安な点やわからないことがありましたら、学校にお問い合わせください。